




**21 岡山城** 甲賀市水口町古城が丘  
JR草津線貴生川乗換近江鉄道本線水口駅下車  
京への街道の防備、そして甲賀、蒲生の支配を目的として秀吉の命により築城される。石垣や堀で構成された縄張りが残る。




**22 多羅尾代官屋** 甲賀市信楽町多羅尾  
JR草津線貴生川乗換信楽高原鉄道信楽駅からバスまたはタクシー  
江戸時代を通した世襲代官として名高い多羅尾氏の代官所跡。近江には珍しい、切石を精緻に積み上げた石垣が残る。




**23 小川城(中ノ城・西ノ城)** 甲賀市信楽町小川  
JR草津線貴生川乗換信楽高原鉄道信楽駅からバスまたはタクシー  
多羅尾氏旧城。本能寺の変に際して、家康が三河に脱出した時に滞在したこと知られる。石垣で囲まれた郭や礎石建物の跡が残る。




**24 植城** 甲賀市水口町植  
JR草津線貴生川駅下車  
甲賀五十三家の中心的な存在であった山中氏の本拠。発掘調査により、堀と土塁で囲まれた屋敷群があったことが、明らかとなった。




**25 平子城** 甲賀市水口町岩坂  
JR草津線貴生川駅下車  
甲賀郡中惣と呼ばれた武士の城郭。土塁で方形に囲まれた典型的な甲賀郡の城郭。内部に土塁による仕切があるのが特徴。




**26 下山城** 甲賀市水口町下山宇市場  
JR草津線三雲駅または貴生川駅からバス  
甲賀五十三家伴氏の中心的城郭。集落を見下ろす尾根の先端にある。土塁を四方に巡らす単純な構造であるが、高度差により威圧感が高い。




**27 津山城** 甲賀市水口町下山宇細佐  
JR草津線三雲駅下車  
集落を見下ろす尾根の自然地形を利用して築城。大規模な土塁と空堀が特徴。甲賀型の城郭ではあるが、一部に先進的な改造が認められる。




**28 新宮城・支城** 甲賀市甲南町新治  
JR草津線甲南駅下車徒歩またはバス  
甲賀特有の二城近接型の城館。両城とも、尾根を空堀で断ち切り、この前面に土塁を方形に巡した、典型的な甲賀型の城館である。



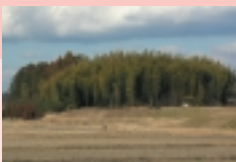
**29 望月城・支城** 甲賀市甲南町杉谷  
JR草津線甲南駅下車徒歩またはバス  
甲賀特有の二城近接型城館。望月城には高さ6mにも及ぶ、日本最大級の土塁や深い空堀を始め、武者隠等の特徴的な縄張りが残る。




**30 村雨城・寺前城** 甲賀市甲南町新治  
JR草津線甲南駅下車徒歩またはバス  
二城近接型の城館で、深い堀切を挟んで並立する。寺前城には、堀に架けた土橋を利用した虎口等、先進的な築城技術が認められる。



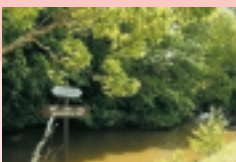
**31 竹中城** 甲賀市甲南町新治宇熊尾  
JR草津線甲南駅下車徒歩  
杉谷川の段丘上にある。河川を天然の要害とし、四方に土塁を巡らした城館を築く。平野部における甲賀型の城郭として重要。



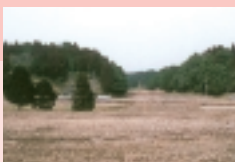
**32 上野城** 甲賀市甲賀町油日山崎  
JR草津線油日駅下車  
空堀と、一部が二重になる高い土塁を巡らした主郭の前面に、土塁囲いの広い郭が接続する、高度な築城技術による縄張りが見られる。




**33 佐治城** 甲賀市甲賀町小佐治  
JR草津線寺庄駅下車  
方形に土塁を巡らした郭を単純に連結させただけの縄張りが残る。甲賀型城郭の古様を留めた城郭として注目される。




**34 和田城塞群** 甲賀市甲賀町和田  
JR草津線油日駅下車  
和田は、多数の城郭があることで知られる甲賀郡でも、特に城郭が密集している地域。足利義昭が一時身を潜めた場所と、記録されている。



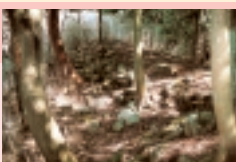
**35 土山城** 甲賀市土山町北土山  
JR草津線貴生川駅下車あいくるバス  
土塁を方形に巡らした主郭の前面に、角馬出と呼ばれる、先進的な技術による虎口を付属させる。甲賀攻防戦の際に織田勢が改築したと見られる。



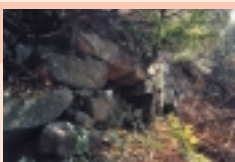
**36 黒川氏城** 甲賀市土山町鮎河  
JR草津線貴生川駅下車あいくるバス  
縄張りに、土塁や空堀に加え、石垣や石段を用いた、甲賀型の城郭にはない構造が見られる。織田信長の甲賀侵攻に際し織田勢が築城したとみられる。



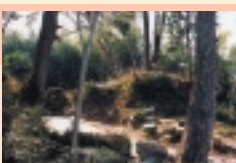
**37 大河原氏城** 甲賀市土山町鮎河  
JR草津線貴生川駅下車あいくるバス  
土塁と空堀で構成される主郭を中心とし、ここから派生する四方の尾根上に郭を多数連結させる。城郭を拡大させていった状況が良く判る。




**38 星ヶ崎城** 竜王町大字鏡  
JR琵琶湖線篠原駅下車又は近江八幡駅よりバス  
佐々木氏の本城である観音寺城の支城として築城されたとされる。城主は鏡氏。主郭部には緻密に積み重ねられた石垣が残る。



**39 井上館** 竜王町大字鏡  
JR琵琶湖線篠原駅下車又は近江八幡駅よりバス  
星ヶ崎城の麓にある城主の居館とされる館。堀と土塁に囲まれた居館の中に、後世のものではあるが、中世を彷彿とさせる茅葺きの建物が建つ。




**40 八幡山城** 近江八幡市宮内町  
JR琵琶湖線近江八幡駅下車バス  
豊臣秀吉が、近江支配の拠点として築かせた、総石垣造りの城郭。豊臣秀次の居城となる。金箔瓦を始めとする豪華な遺物が出土。




**41 北之庄城** 近江八幡市宮内町  
JR琵琶湖線近江八幡駅下車バス

八幡山城に先行する中世城郭。大規模な土塁と堀に囲まれた二つの郭により構成される。虎口には、高度な築城技術が見られる。




**42 水葦岡山城** 近江八幡市牧町  
JR琵琶湖線近江八幡駅下車バス

六角氏の支城として築城される。京を追われた11代室町将軍足利義澄を迎えた際に、大規模な改造がされたと見られる。




**43 長光寺城** 近江八幡市長光寺町他  
JR琵琶湖線近江八幡駅下車

六角氏の支城であったが、信長の攻撃により落城し、柴田勝家が城主となる。有名な「瓶割り柴田」は、再起した六角氏との戦い時の逸話。




**44 後藤氏館** 東近江市中羽田町  
JR近江八幡駅乗換近江鉄道市辺駅下車

六角氏の重臣後藤氏の本城。100mを超える大規模な土塁と堀に囲まれている。入り口部分には、門跡の石垣が残る。




**45 高野城** 東近江市永源寺高野町  
JR近江八幡駅乗換近江鉄道八日市駅からバスまたはタクシー

別名「お鍋館」。織田信長の側室お鍋の方が住んだと伝えられる。安土城とほぼ同時期の古い石垣と虎口が残る。




**46 青山城** 東近江市青山町  
JR近江八幡駅乗換近江鉄道八日市駅からバスまたはタクシー

愛知川右岸の段丘上にある。非常に高い土塁と、深い堀により囲まれた方形の城郭。土塁の一部には礎石があり、櫓が建っていたと見られる。




**47 井元城** 東近江市妹町  
JR近江八幡駅乗換近江鉄道八日市駅からバスまたはタクシー

愛知川右岸の段丘上にある。鯉江城に籠もった六角氏と戦うために織田勢が築いた付城と見られる。全国的にも珍しい「重馬出し」が残る。




**48 鯉江城** 東近江市鯉江町  
JR近江八幡駅乗換近江鉄道八日市駅からバスまたはタクシー

六角氏の家臣鯉江氏の居城。信長の近江侵攻に際し、六角氏は観音寺城を捨てここに籠もるが、破れ、近江守護六角氏の歴史に幕を下ろす。




**49 百濟寺城** 東近江市百濟寺町他  
JR近江八幡駅乗換近江鉄道八日市駅からバスまたはタクシー

寺院でありながら空堀や土塁で防御した坊があり、城塞化していたことが窺える。六角氏に与したため、信長に攻められ、焼き払われる。




**50 佐生日吉城** 東近江市五個荘日吉町  
JR琵琶湖線能登川駅下車

六角氏の重臣後藤氏が、江北勢力の侵攻に備えて築いた、観音寺城防御の支城。安土城以前の城郭ではあるが、進んだ技術の石垣が見られる。




**51 箕作山城** 東近江市五個荘山本町  
JR安土駅又は近江鉄道八日市駅下車

観音寺城のある織山と対峙する箕作山にある、戦略上の要衝。信長の近江侵攻戦で落城。これを機に六角氏は滅亡に向かう。石垣や堀が残る。



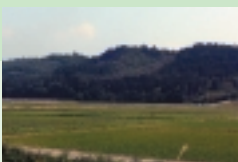
**52 布施山城** 東近江市布施町、市辺町  
JR近江八幡駅乗換近江鉄道八日市線市辺駅下車

六角氏の重臣布施氏の居城。史上名高い「後藤騒動」の舞台となった。尾根上に造られた南北二つの郭で構成される。土塁や井戸跡が残る。




**53 大森城** 東近江市大森町  
JR近江八幡駅乗換近江鉄道本線桜川駅下車

布施氏の分家、大森布施氏の居城。自然の山地形を巧みに利用した縄張りで、高低差のある3つの郭により構成される。土塁や井戸跡が残る。




**54 伊庭御殿** 東近江市能登川町  
JR琵琶湖線能登川駅下車

徳川将軍の上洛御殿の一つ。織山麓の地形に合わせた不整形の地割りが特徴。発掘調査により建物跡、井戸跡等が指図通りに見つかった。




**55 和田山城** 東近江市長勝寺町  
JR琵琶湖線能登川駅下車

江北からの侵攻に対し、観音寺城を防御する支城の一つ。土塁を用いた単純な縄張りの城郭。城内に古墳を利用した櫓台が見られる。




**56 小脇館** 東近江市小脇町  
JR近江八幡駅乗換近江鉄道八日市線太郎坊宮前下車

佐々木氏の近江における最初の居館。発掘調査により、小脇町全体を取り囲む堀跡が見つかり、巨大な館があったことが明らかとなった。




**57 安土城** 安土町下豊浦他  
JR琵琶湖線安土駅下車

織田信長が天下布武の拠点として築いた城郭。総石垣、瓦葺きの礎石建物等、近世城郭の特徴が全て見られる。




**58 観音寺城** 安土町石寺他  
JR琵琶湖線安土駅下車

近江守護佐々木六角氏の本城。その規模は日本最大級。石垣を用いた郭を雛壇状に、多数連結させた縄張りが特徴。



**59 鎌掛城** 日野町鎌掛  
JR近江八幡駅乗換近江鉄道日野駅下車町営バス

鎌掛谷を見下ろす急峻な尾根に築かれた山城と、山麓に広がる「山屋敷」と呼ばれる居館により構成される。土塁、堀などが良く残る。



**60 佐久良城** 日野町佐久良  
JR近江八幡駅乗換近江鉄道桜川駅から町営バス

周囲を見下ろす丘陵上にある。小倉氏の居城。圧倒的な土量により構築された土塁と堀で築かれた二つの郭が、土橋により連結される

